

SAJ

サバァイ通信

公益財団法人 School Aid Japan コミュニケーション誌
サバァイは「幸福」を意味するクメール語です

Vol.5

2019.1 月号

あけましておめでとうございます。
旧年中のご厚情に深く御礼申し上げます。
本年も変わらぬご支援を
よろしくお願い申し上げます。



学校建設数280校に!

(2018年12月現在)



アンドングラサン小学校
の旧校舎

カンボジア、No.264 アンドングラサン小学校

2002年より支援活動を行っている学校建設事業では、2018年12月までに280校を建設しました。カンボジアの現地調査を行っているところ、現在は中学校や幼稚園の建設要望が増えてきました。カンボジアでは幼稚園と小学校は教室を共有しないことが基本ですが、教室数が少ないことにより、幼稚園児と小学生が教室を共有している学校もあります。幼稚園の建設（2～3教室）をすることで教室の共有が解消されています。今後は竣工調査の実施を義務化や、建設業者の決定・入札などプロセスの見直しを行い学校建設を進めてまいります。



No.260 セエライモンコール幼稚園

セエライモンコール幼稚園
の旧校舎

皆様からの会費・寄附は「1円残らず現地に届ける」ことを基本方針として活動しています。

会費

会員会費(年額)1口 12,000円
 法人会費(年額)1口 120,000円

一般寄附

用途は指定しないで
 金額も自由な寄附

指定寄附 (使い道を指定する寄附)

- 学校建設寄附(1) 一口寄附(一口100,000円)、(2) 一棟寄附
- ふれあいサポートプラン(一口12,000円から)
- 食の支援寄附(金額自由)
- 孤児院運営寄附(金額自由)
- 孤児院運営会費(12,000円/月)
- 孤児院里親会費(12,000円/月)
- 奨学金寄附(金額自由)
- 学校運営寄附(バングラデシュ)(金額自由)

詳細はSAJ事務局までお問い合わせください。

支援活動のご報告 (指定寄附別)

支援者様から頂いた寄附が、どのような活動に繋がっているのかご紹介いたします！

ふれあいサポートプラン・食の支援寄附

コンポンチュナン州 14校、ポーサット州 14校の子どもたちに、文房具・制服・お米の配布をしました。

■支援総数(2018年11月現在)

ふれあいサポートプラン 1,050名

お米支援 976名



学校運営支援【NDMHS 教員採用試験実施】

今年も教員採用試験が始まりました。約1,300通もの応募の中から14名のみ選考します。

書類選考・筆記試験・模擬授業・グループディスカッション、そして最終面接と1ヶ月半かけて採用を行います。私たちの理念に共感し、モデル校の教員として自覚を持って働ける新しい仲間をしっかりと選定します。(NDMHS校長 古澤)



採用試験当日、NDMHSへ来場された方々

孤児院運営支援【生徒会投票】

年に1度行っている生徒会投票を行いました。

子どもたち全員が投票を行い、リーダー：ユン・サイハー(高1)、副リーダー：ユン・サイハーン(高1)、ヤン・ヴィサル(高1)に決まりました。リーダー・副リーダーの最初の仕事は、各学年のリーダーを決めることです。子どもたちの中で問題が起きた時には、リーダーを中心に一緒に考え、改善ができる園を目指します。(副園長 平江)



左から、副リーダーのユン・サイハーン、リーダーのユン・サイハー、副リーダーのヤン・ヴィサル

孤児院運営支援【新高校1年生】

新高校一年生には、毎年、進学祝いとして新しいカバン・靴・制服を購入しています。子どもたち自身で市場へ行き予算内で買い物をするので、それぞれが計算をしながら気に入ったものを選びました。普段子どもたちはお金を持っていないので、市場で買い物をすることも貴重な体験となりました。

(副園長 平江)



インターネットでの寄附が、便利になりました。

SAJのホームページから寄附していただくことができます。寄附の種類も選べます。

<https://ssl.schoolaidjapan.or.jp/kifu/>

こちらから



会費・寄附金のお振込み

●郵便局：00140-5-345903

●三井住友銀行：浦田支店(普) 4353626 口座名：公益財団法人 School Aid Japan

※郵便局払込用紙をご希望の方はSAJ事務局までご連絡ください。

※領収書をお送りいたしますので、初めてお振込みされる際は送付先のご住所をEメールまたは電話にてご連絡ください。

寄附金の優遇税制

SAJは内閣総理大臣の認定を受けた公益財団法人です。そのため、会費や寄附金は、税制上の優遇処置を受けることができます。詳しくはお問い合わせください。

第 188 回 SAJ 理事評議員会が、2018 年 11 月 26 日行われました。議案は下記の通りです

SAJ は、すべての理事で構成され業務に関する決定を行う理事会と最高議決機関である評議員会が毎月開催されています。

《構成メンバー》

■代表理事

渡邊美樹

■理事

鳥井親一、清水和雄、武長彩子、

磯野健雄

■業務執行理事

青木茂雄

■評議員

大江光正、清水邦晃、佐藤誠、

高橋亮、大城慶正、白柳直美

■監事

片山進平、小田剛志

報告 1：カンボジア大学生日本研修の報告、研修生参加基準の見直しと次年度計画について

訪問先・支援者様との交流の様子や研修内容の報告がなされた後、次年度以降の検討事項の説明。研修参加基準及び次年度計画概要の説明の後、承認をいただきました。

議案 2：プレイスワイ中学校の補修・補強について

2009 年建設校舎の現状に関して説明。校舎の補強方針・発注先・発注金額の経緯説明の後、承認をいただきました。

議案 3：学校建設事業のプロセスの見直しについて

学校建設の調査・決定・入札・契約の変更プロセスに関して説明がなされ、承認をいただきました。

議案 4：2018 年下期学校建設の発注先と発注金額について

発注先と発注金額について説明の後、承認をいただきました。

議案 5：孤児院在園基準、高校・大学進学基準、大学受験支援、奨学金について

変更基準の根拠を現場職員の意見から決定した経緯の説明。奨学金にルール規定設ける前提で、承認をいただきました。

議案 6：プノンペン事務所スタッフの採用、ならびに所長の昇給について

採用スタッフのモン・サムナンについて、及び所長の昇給理由の説明の後、承認をいただきました。

議案 7：SAJ Farm の現地人マネージャー採用について

孤児院卒園生ハイ・トールの採用の経緯・給与・業務内容のが説明の後、承認をいただきました。

SAJ Farm

11月のファーム



SAJ ファームは、孤児院の子どもや、将来的には農業を志すカンボジアの若者に技術を習得させるための実習場（農場）として、2010 年にスタートさせた就労支援事業です。

「販売会」にブース出展 ▶ [One Village One Product] (コンボンチュナン州)
▶ [Phnom Penh Clean City chaileng with Japan] (プノンペン)

11 月コンボンチュナン州と、首都プノンペンで初めて開催されたイベントにブースを出展しました。

コンボンチュナン州では、日本の援助で建設された道の駅にて販売会が開催され、4 日間で来場者数は約 6,000 人、ほとんどが現地の方でした。SAJ Farm では石鹸・精油・レモンガラスティーを販売。値段を低く設定することで現地の方にたくさん買って頂き、イベントの 4 日間での売上は US\$245 でした。プノンペンでは日本人団体が主催したチャリティーごみ拾いに参加、イベント会場のブースに出展しました。こちらは日本人のお客様が多く、2 時間で US\$81 販売することができました。

今回 2 つの販売会への参加は、SAJ の活動をより多くの人に知ってもらう良い機会になったと思います。(農場長 角井)



「販売会」写真上：コンボンチュナン州、下：プノンペン



プノンペンの販売会にて（左から、孤児院副園長：平江、職員：大東、SAJ Farm 職員：酒井、チャンダー、角井）

スタッフ紹介

SAJ Farm 角井 伸成

ワタミグループの農場部門に異動した際に、上司から「カンボジアで働いてみないか？」と打診されたことがきっかけで、2015年よりSAJ Farmで勤務しています。

英語が話せず、一度も外国へ行ったことがなかったそうですが、ここで行かなかったら二度と外国で生活する機会はないと思い、カンボジアへで働く決意をしたそうです。

カンボジアでの一番の苦労は最初の1年間、現地の食事が合わず、食べることが

できる1、2種類のおかずをほぼ毎日食べていたこと。1年過ぎたあたりから不思議と他のおかずも食べることができるようになり、今は時々自炊もしています。

カンボジアで一番印象に残っていることは、シェムリアップの遺跡でお土産を売り歩きしていた女の子の笑顔です。不機嫌そうな顔でお土産を売る女の子に、一緒に走って遊ぼうよと言った時の女の子の嬉しそうな笑顔がどの遺跡よりも素晴らしいことだと思います。



SAJ Farm の看板の前でスタッフたちと。一番右が角井農場長

1 月末で SAJ Farm の勤務を終え、ワタミグループの北海道にある美幌峠牧場で勤務することになりました。



角井 伸成

代表理事メッセージ

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
2013年の1月に、バングラデシュで幼・小・中・高の一貫校ナラヤンクル・ドリーム・モデル・ハイスクール(以下、NDMHS)を開校して丸6年が経ちました。学校用地の契約で偽の地主に騙されそうになったり、マフィアに工事を妨害されたり、開校への道のりは決して平たんではありませんでした。開校時は3教室の仮校舎でのスタートでしたが、今では4階建ての立派な鉄筋コンクリート造の校舎が建ち、今月、ついに鉄骨造の体育館が竣工します。バングラデシュで体育館のある学校はほとんどありません。生徒数が1,000人を超え「雨期でも全校集会を行える場所が欲しい」という現地教職員の願いで建てました。

オークンチュラーン

学校法人郁文館夢学園の協力により、日本人校長が先頭に立って、夢手帳、夢カウンセリング、夢達人ライブ、文化祭、体育祭など、バングラデシュの従来校にはないカリキュラムを次々と導入した結果、中学校の卒業試験ではガジプール県でトップクラスの好成績を収めることができました。NDMHSの名はバングラデシュの全国に知れ渡り、直近の教員採用では14名の採用枠に対して1,300名もの応募がありました。

2016年7月には、首都ダッカで日本人7名の命が奪われる残虐なテロ事件も発生しました。そんな事業存続の危機を乗り越えて、日本人及び現地教職員の奮闘により、NDMHSはその名の通り「バングラデ

シュのモデル校」となるべく進化し続けています。

2019年も、カンボジアとバングラデシュで、なお一層の努力をして参りますので、引き続き皆様からの温かいご支援をお願い申し上げます。



代表理事 渡邊美樹

支援者様メッセージ 有限会社菅沼 代表取締役 菅沼 康雄 様

2008年に代表理事の講演を聴かせて頂いたことがきっかけで、これまで10年間毎年1回SAJカンボジア教育支援ツアーに参加しています。

最初の年はトゥール・スレン虐殺犯罪博物館、キリングフィールドを見学し、大変ショックを受けました。また、毎年SAJの支援によって建設された学校、ふれあいサポートプランの支援を受けている子どもの家、SAJ Farmの視察・見学をし「夢追

う子どもたちの家」で子どもたちと交流をしています。今では手づくりの玩具を土産に持っていき一緒に遊ぶことが恒例となっています。

里子のハイ・トールは、おかげ様で専門学校を卒業することになりました。本当にありがとうございました。

この10年間、SAJの活動に参加させて頂き、たくさんの学びがありました。これからもできる範囲の中で、継続させて頂きた

いと思います。



ご支援いただいた寄附

2018年12月度

12月の寄附金合計 4,216,728円

(内訳)

会員会費 2,020,917円

一般寄附 297,628円

指定寄附合計 1,898,183円

募金箱回収ありがとうございました

募金箱回収してくださった方(順不同、敬称略) ※法人名、団体名は2018年4月現在のものです。

ワタミ(株) 立川南口店
ワタミ(株) 大森北口店
ワタミ(株) 三代目鳥メロ上板橋店

ワタミ(株) 外苑前スタジアム通り店
ワタミ(株) 39DELICA 笹塚店

募金箱の回収は、郵便局や銀行での振込みまたは、SAJ事務局への持参にて承ります。

これまでの実績

いただいた寄附金の累計額
(2001年度～2017年度)



26億
8,827万8,305円

現在、SAJの建設した
学校で授業を
受けている児童・生徒の人数
(2018年3月現在)



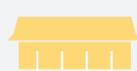
90,140人

SAJの建設した学校で
お米を受け取った
児童数の累計
(2006年度～2017年度)



8,556人

建設した学校の合計
(2001年度～2017年度)



268校

ふれあいサポートプランで
文房具や制服を受け取った
児童数の累計
(2003年度～2017年度)



11,479人

SAJの建設した学校で
朝給食を支給された
児童数の累計
(2006年度～2017年度)



99,296人

今後の予定

1月8日～1月10日 SAJカンボジア教育支援視察ツアー

1月28日 第190回理事評議員会

編集後記

本年度も沢山の支援活動のご報告ができるよう、制作をして参りますのでよろしくお願致します。